
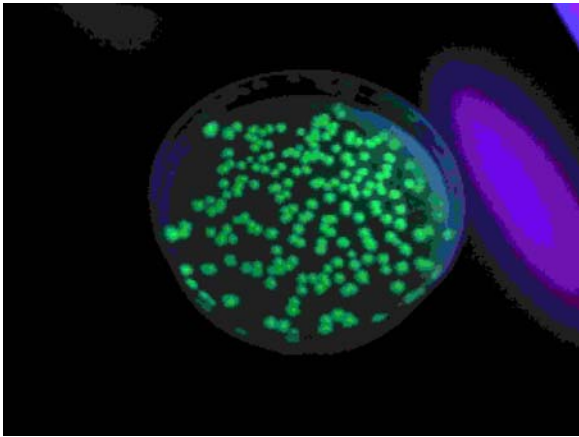



整理番号	HT 2 2 0 8 1	分野	農学
------	--------------	----	----

明治大学

目に見えない微細気泡—マイクロバブル—を用いた農業分野における最新の殺菌技術

先生（代表者）	玉置 雅彦（たまき まさひこ） 明治大学農学部教授	
自己紹介	環境に配慮し、若い世代にも興味が抱ける、農学と工学を連携させた新しい植物栽培システムに関する研究を行っています。楽しい・面白い農業を目標にして、日々チャレンジしています。	
開催日時	平成 22 年 8 月 7 日（土）・8 日（日） 集合時間 9:30	
開催会場 （集合場所）	明治大学 生田キャンパス 農学部 2 号館 住所：〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1 アクセスマップ： http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/ikuta/access.html	
主な募集対象	高校生 20 名	
内容		
<p>培養液を用いて植物を栽培する方法である水耕栽培は、一般的な土で栽培する方法と比較して生産性が高い半面、培養液中に一旦病原菌が混入すると全施設内に蔓延し短時間のうちに収穫が皆無となる大きなリスクがある。そこで、殺菌能力に優れるオゾン、水への溶解能力に優れるマイクロバブルにして培養液に処理すれば容易に殺菌できる。本プログラムでは、水耕栽培の現状を理解してもらい、実際にオゾンマイクロバブルの驚異的な殺菌効果を肉眼でも確かめてもらうことを目的とする。</p> <p>1 日目は、大学内の水耕栽培施設を見学してもらい、午後は“光る大腸菌”の作成とオゾンマイクロバブル水を用いた殺菌実験を体験してもらう。2 日目は、最新の農業技術について理解を深める為に水耕栽培とマイクロバブルに関する講義を行い（講師：玉置雅彦），“光る大腸菌”とオゾンマイクロバブルによる殺菌効果を観察してもらう。</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>光る大腸菌の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>マイクロバブル発生の様子</p> </div> </div>		

スケジュール		持ち物
7日 土曜日		筆記用具
9:30-10:00	受付（農学部2号館前集合）	
10:00-10:20	開講式（開会挨拶、科研費と本事業の説明、オリエンテーション）	
10:30-10:50	水耕栽培施設見学、実験室へ移動	特記事項
11:00-11:50	実験「培地作製」	
12:00-13:00	昼食	
13:00-15:30	実験「光る大腸菌作成・オゾンマイクロバブル水を用いた殺菌」	
15:30	終了・解散	申込締切日
8日 日曜日		
9:30-10:00	受付（農学部2号館前集合）	平成22年7月31日（土）
10:30-11:30	講義「最新の農業技術について」	17:00まで
11:40-12:30	実験結果の観察	
12:30-13:00	修了式（アンケート、「未来博士号」授与）	
13:00	終了・解散	

お問い合わせ ・お申込み先	所属・氏名 明治大学農学部・玉置雅彦	
	住所：神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1	
	TEL：044-934-7045	FAX：044-934-7045
	E-mail：mtamaki@isc.meiji.ac.jp	

★プログラムのテーマと関係する科研費

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
玉置雅彦	H21年度 ~23年度	基盤研究（C）	21580407	マイクロバブルオゾンを利用した効率的な水耕培養液の殺菌・浄化



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。